

# OKAYAMA夢につながる学びプロジェクト

～誰一人取り残されない岡山県の教育に向けて～

## V 国の不登校対策の方向性

文部科学省が令和5年3月に策定した、「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策（COCOLOプラン）<sup>※3</sup>」等の趣旨を踏まえ、岡山県でも対策の速やかな推進が求められています。

### COCOLOプランの概要

- 不登校により学びにアクセスできない子どもたちをゼロにすることを目指し、
1. 不登校の児童生徒全ての学びの場を確保し、学びたいと思った時に学べる環境を整える
  2. 心の小さなSOSを見逃さず、「チーム学校」で支援する
  3. 学校の風土の「見える化」を通じて、学校を「みんなが安心して学べる」場所にする
- ことにより、誰一人取り残されない学びの保障を社会全体で実現する。

### 文部科学省初等中等教育局長通知<sup>※4.5</sup>の概要

- 不登校児童生徒への支援は、「学校に登校する」という結果のみを目標にするのではなく、児童生徒が自らの進路を主体的に捉えて、社会的に自立することを旨とする必要がある。
- 不登校の時期が休養や自分を見つめ直す等の積極的な意味を持つことがある一方で、学業の遅れや進路選択上の不利益や社会的自立へのリスクが存在することに留意する必要がある。
- 特に義務教育段階の学校は、各個人の有する能力を伸ばしつつ、社会において自立的に生きる基礎を養うとともに、国家・社会の形成者として必要とされる基本的な資質を培うことを目的としており、その役割は極めて大きいことから、学校教育の一層の充実を図るための取組が重要である。

#### 不登校児童生徒への支援の基本的な考え方

1. 学校は、誰もが安心して学べる魅力ある学校づくりに取り組む必要がある
2. 学校は、多くの人との関わりの中で、様々な体験や経験を通じて、実社会で役立つ生きる力を養う場である
3. 不登校児童生徒や保護者一人一人に応じた多様な支援や情報提供を行うことが重要である

## VI 参考資料等

- ※1 岡山型PBLガイドブック  
<https://www.pref.okayama.jp/page/842452.html>
  - ※2 PBLガイドブック（高校版）  
<https://www.pref.okayama.jp/site/16/778524.html>
  - ※3 「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策（COCOLOプラン）」  
[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/seitoshidou/1397802\\_00005.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/1397802_00005.htm)
  - ※4 文部科学省初等中等教育局長令和5年11月17日付け通知「不登校の児童生徒等への支援の充実について（通知）」  
[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/seitoshidou/1422155\\_00001.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/1422155_00001.htm)
  - ※5 文部科学省初等中等教育局長令和元年10月25日付け通知「不登校児童生徒への支援の在り方について（通知）」  
[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/seitoshidou/1422155.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/1422155.htm)
- 参考 岡山型 長期欠席・不登校対策スタンダード  
<https://www.pref.okayama.jp/site/16/604664.html>
- 参考 岡山型 長期欠席・不登校対策スタンダード増補版  
<https://www.pref.okayama.jp/site/16/773061.html>
- 参考 起立性調節障害ガイドライン  
<https://www.pref.okayama.jp/site/16/604493.html>

※県教育庁人権教育・生徒指導課のHPには様々な支援ツールを掲載しています。

学校現場での取組を強力に支援する観点からも、県教委においては、対策に必要な事業を実施するとともに、学校における働き方改革を一層推進してまいります。

## I はじめに

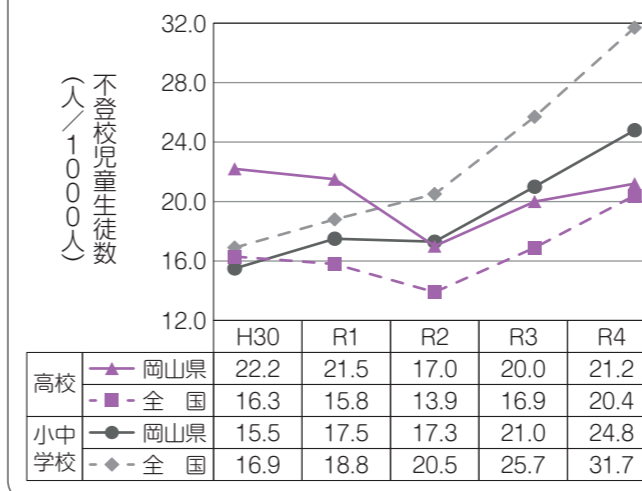
本県教育委員会では、子どもたち誰もがどのような状態にあっても、夢につながる学びが実現できるよう、不登校対策に係る基本的な考え方を整理した上で、新たな取組も加えた「新岡山県不登校総合対策」をとりまとめました。

総合対策で掲げた内容を、各学校において着実に進めていくため、教職員の方を対象にリーフレットを作成しました。これまでの教師主導の教育活動から、子どもの主体性を育む支援体制に変化しつつ、さらに、子ども真ん中の学校へ変えていくための一歩として、本リーフレットの活用をお願いします。

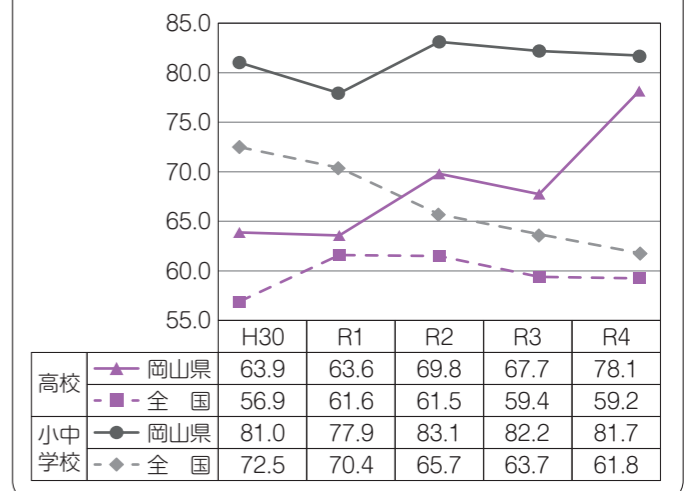
## II 不登校の現状

本県の不登校児童生徒数の出現割合は、全国と同様に増加傾向にあります。また、相談・指導等を受けた不登校児童生徒の割合は、全国的に減少傾向となっており、早急に対応すべき重要な課題です。

1,000人当たりの不登校児童生徒数の推移  
(国公私立高校計・国公私立小中学校計)



不登校児童生徒のうち学校内外で相談・指導等を受けた割合の推移  
(国公私立高校計・国公私立小中学校計)



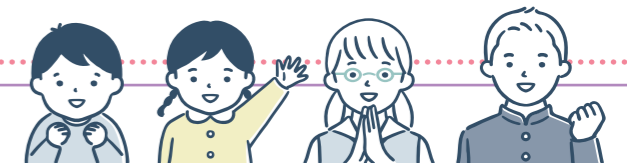
※文部科学省「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」結果を利用し独自に集計

## III 不登校対策の基本的な考え方

### 誰一人取り残されない学びの実現

どのような状態の子どもでも学びにつながるができるよう、学校における指導の改善・充実や学校外での学びの場づくりを推進します。

- ① 学校を、子どもたち誰もが通いたくなる魅力ある場所とします。
- ② 子どもたち・保護者と丁寧なコミュニケーションを図ります。
- ③ 子どもたちに、多様な学びの場を用意します。



# V 学校・教師に求められる役割

## ① 学校を、子どもたち誰もが通いたくなる魅力ある場所とします。

授業や学校行事、校則の在り方などを振り返り、これまでの教師主導の教育活動から、子どもを真ん中にした教育活動へ転換しましょう。



「失敗を恐れず挑戦できる」場所

### 振り返りの視点

- 「みんな同じ」を過度に要求していないか
- 学校が決めた決まりが最優先となっていないか
- 手厚すぎる指導・支援をしていないか
- 「学校の常識」というバイアスがはたらいっていないか
- 画一的な一斉授業となっていないか
- 子どもが主体的に考え、判断する場が不足していないか
- 結果ばかりにこだわっていないか

## これから大切にしたいこと

### 子どもを真ん中にした教育活動

- 「学校の常識」を問い直すこと
- 学びを子どもに委ねること
- 自己決定の場を充実させること
- 教師は子どもの伴走者となること

### 実践例(高校) ★校則の見直しを機に子どもたちの主体的な取組を実現

生徒会が主体となり、全校生徒や企業に対し、身だしなみなどに関するアンケートを実施するとともに、生徒自身が校則の根拠や見直しによる影響を考え、校則の見直し内容を提案するなど、生徒の主体性を引き出しました。

### 個別最適な学び・協働的な学び

- 個々の特性・学習進度等に応じた指導の個別化
- 個々の興味・関心に応じた学習の個性化
- 異なる他者との協働



### ICTの日常的な活用

- 学校や家庭で、自分の判断で端末を活用して学ぶことができる環境整備
- 自分の学習進度等に応じて、ICTも活用し、自ら学習を調整しながら学ぶ
- クラウドを活用し、「他者参照」「途中参照」「相互啓発」して協働的に学ぶ

### PBLの推進※1,2

- 「夢」や「なりたい自分」を見つける
- 自己の在り方や生き方を考えながら、課題を発見し解決する
- 自己決定の場の充実
- 地域の多様な「人・もの・こと」の活用
- 振り返りを重視

## ② 子どもたち・保護者と丁寧なコミュニケーションを図ります。

何らかの理由で学校に行きづらさを感じている児童生徒に対し、専門家等も活用した「チーム学校」で、子ども本人や保護者の声を聴きながら、一人ひとりの状況をしっかりとアセスメントした上で、それぞれの最適な支援策を検討しましょう。

### 「チーム学校」による支援

- 児童生徒一人ひとりに対し、専門家も活用しながら、しっかりとアセスメント
- スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーによる相談支援や関係機関との連携

### 1人1台端末の活用

- 心の健康観察などにより、児童生徒のわずかな変化を見逃さず早期に対応
- ICTを活用した、学校とのつながりを切らないための取組
- 遠隔授業等により、学びを継続できる支援(高校段階)

## ③ 子どもたちに、多様な学びの場を用意します。

学校内外を問わず、学びの場や支援機関などの情報を提供し、学びにつながるよう支援しましょう。

### オンライン応援室「まんまリンク」【県】

自分のペースで過ごせるオンライン上の居場所です。本名を明かさず、アバター(自分の分身となるキャラクター)を用いて、活動をサポートするスタッフと一緒にメタバース空間でおしゃべりしたり、興味のあるコンテンツに参加できます。



### フリースクール

不登校の子どもに対し、個々の状況に合わせた学習や体験などの様々な教育活動を提供する民間の施設です。

### 学びの多様化学校

学校に行きづらさを感じる子どもの実態に配慮した特別の教育課程を編成して教育を実施する学校です。

### 図書館、博物館などの社会教育施設【県】

施設の見学や科学実験・古墳見学などのイベント等へ参加できます。一部の施設では児童生徒向けに、自習等を行うスペースを用意しています。



生涯学習センター



県立図書館



県立博物館



古代吉備文化財センター



渋川青年の家



青少年教育センター 関谷学校

### 岡山県教育支援センター「My Place」【県】

高校進学を目指しているものの、様々な理由で登校ができていない中学生のために、県立高校施設内に設置した、学習等をしながら落ち着いて生活できる居場所です。生徒自身が決めた一日の過ごし方を、スタッフが寄り添って支援します。



「My Place」室内の様子

### 市町村教育支援センター

各学校と連携して、不登校の児童生徒が通所して学習や体験活動を行ったり、保護者が相談したりできる施設です。

### 自立応援室

- 様々な理由で教室へ入りづらくなり、不登校またはそうした傾向となっている児童生徒のための教室以外の選択肢となる学校内の居場所です。
- 社会的自立に向けた生活支援や学習支援等を個々の状況に応じて進めていきます。

社会的自立へ!

やりたいこと・なりたい自分を目指して